

# バス停タイムス

2016年4月20日

No.38

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労働組合新幹線地方本部

## 従事員証の取り上げは即刻やめろ！

もう黙ってはいられない！従事員証を直ちに返せ！

3月19日、SMT大井夜勤事業所に出向中の組合員が、従事員証を家に忘れたことに気づき、直ちに当直に連絡した。そして当直から「自宅に家族がいるなら電話し従事員証があること・番号を確認すること」を指示され、組合員は家族に確認し従事員証が自宅にあることと、番号を当直に伝えた。そうしたらまた当直から、自宅に戻るように指示され、本人は家族に途中の駅まで持ってきてもらい、できるだけ出勤時間に遅れないように最大の努力をした。しかし、30分ほど出勤時間に遅れ、状況報告書を作成させられた。さらに30分の遅刻とされ勤務は否認扱いとされた。挙句の果てに〇〇副所長から「従事員証を1か月とりあげる」と通告された。さらに点呼時に何日間も「従事員証の一時紛失」として言われ続けた。本人は、正直者が馬鹿を見るとは思いながらも、自らの非を反省し、すべてを受け入れた。

**ところが、である。**1か月经った4月18日、本人は〇〇所長に従事員証を返してくれるようお願いした。あろうことかこの無責任で名高い〇〇所長は副所長がなんと言おうと責任者は私であると言わんばかりに、「一時紛失は3か月だ」とのたまった。本人は納得できず〇〇副所長に問うたら「1か月**以上**と言ったのだ」と開き直った。

### SMT本社と新幹線鉄道事業本部に抗議！

どうしてこのようなことが許されるのか！われわれは労働組合として、このようなことを放置しない！本人は5年前にJRから強制的にSMTに出向させられ、今日まで一生懸命に働いてきた。そして今年の9月には退職する。この労苦に対する仕打ちがこれである。われわれJR東海労は裁判・労働委員会・労基署・人権擁護委員会や国会でも取り上げ、このような非人道的・パワハラ・人権侵害を断じて許しはしない！

まずは、SMT本社・JR東海会社への抗議と是正を求める運動を始めた。悪徳を自認する〇〇副所長の数々の社員に対する締め付け、暴力的な言動は目を覆いがたい。新人社員が職場に定着しない最大の原因は企業理念とは全く裏腹で居丈高な悪徳〇〇副所長による職場支配にある。また、従事員証を紛失した新人はもう1年も経つというのにまだとりあげられたままである。このための通勤時間の延長たるや労働時間にすれば膨大である。従事員証を直ちにかえせ！本人たちに謝罪せよ！

# SMT本社に緊急の団体交渉を申し入れ！

J R 東海労新幹線地本は、4月15日にSMT本社に大井夜勤事業所の労働条件・職場環境改善を求めて団体交渉を申し入れました。さらに、15日に続いて19日に、出向中の組合員の従事員証とりあげの即時撤回を求めて抗議しました。主な申し入れ内容は以下の通りです。

## 要求① 連続作業を4本以内とし、トイレ・水分補給などの時間を待機時間として確保せよ！

ダイヤ改正以降、中A一本あたり35分作業となり、待機時間が少なくても疲れる。早番でも退出点呼時間を超えること・遅番では深夜4時を超えての作業が続出している。つい先日には9本連続作業もあり、疲労困憊・トイレにも行けない・給水もできない・補食もできない。電車の入換によって左右され、かつ深夜にわたる清掃業務という労働の特殊性を無視している。

## 要求② 3連続夜勤のあとは基本通り特・公の連休に！

基本交番でも予備交番でも3出番のあと連休とならないケースが多くなっている。一日休みでは疲労回復できない。基本通りに休ませるべきだ！

## 要求③ 欠員状態での作業はさせないこと！やむをえない場合は手当を！

このところ当日休む人が多く、欠員状態（特に1号車2人のところ一人）で作業することが続出している。これは当たり前ではない

## 要求④ 下回りから内掃へ・内掃から下回りへの担務変更は本人に明確な説明を！

個人の身体的事情や適性・経験を考慮し、納得を得るように説明すること。

## 要求⑤ 退出点呼後の労働時間外での従事員証の結着確認をやめよ！

退出点呼終了後の結着確認は、業務指示としてはありえない。

## 要求⑥ 出退勤におけるカバンの1個制限はやめよ！

制服の紛失対策として有効というが個人の自由を束縛することにつながる。



## 要求⑦ 洗面所を新たに設置・風呂場を広くせよ！ロッカー室の解錠を早番終了時に！夏期においては入浴許可を！

洗面所が決定的に少ない。汗をかいても身体を拭いたり、着替えたりする場所がない。ロッカー室が解錠されるのが3時である。早番で作業が早く終了した時は点呼前でも入浴できたが、今年の1月21日から禁止となった。理由は「三島事業所も日勤事業所もやっていない」と。この時はなんと「遅番の休憩時間も入浴禁止」。風呂場が狭く一斉に入浴できない。洗い場は10人分しかない！改善せよ！出向者もスタッフもフレッシュも班長も、SMT労組も団結して改善を求めよう！

## 団結して声を上げよう！

連絡先(新幹線地本)	〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5	TEL03-3201-0350
ホームページアドレス	<a href="http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html">http://www.geocities.jp/jrcushinkansen2/right.html</a>	
メールアドレス	jrcushinkansen@yahoo.co.jp	